

北陸新幹線の整備促進を求める意見書（案）

北陸新幹線は、東海道新幹線の代替機能を果たし、日本全体の経済再生や地方創生を促進する重要な国家プロジェクトである。

既に認可を受けている金沢・敦賀間については、政府・与党申合せにより完成・開業時期の3年前倒しが決定された。敦賀までの1日も早い完成・開業に向け、着実に整備を促進されたい。新幹線などの高速交通機関は、終着地点まで整備が完成して初めて真の効果を発揮するものであることから、大阪までのフル規格による全線整備を早期に実現しなければならない。

先月6日には、政府・与党申合せに基づき、敦賀・大阪間整備検討委員会による敦賀以西ルートへの検討が開始された。ルートへの検討に当たっては、単に費用や整備期間だけを問題にするのではなく、将来の国土構造など大局的な見地から議論し、早期にルートを決定することが重要である。

昭和48年の整備計画で決定された若狭ルートは、日本海側の国土軸の形成や東海道新幹線の完全代替機能による国土強靱化に最も資するとともに、大阪まで乗り換えることなく最短で結ぶルートである。

よって、国においては、北陸新幹線の敦賀以西について、若狭ルートの意義を十分踏まえ、整備計画どおり若狭ルートを速やかに決定し、大阪までのフル規格による早期全線整備を実現するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年9月9日

福井県議会